

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 23 年 8 月 17 日(水) 19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 6名 欠席委員数 1名

出席委員の氏名

深田 剛／稲沢 裕子／椛山 晶典／川畑 裕徳／俵 淳子／野村 真仁

欠席委員の氏名

三井 直子

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／小野 健太郎／中原 優子／沖元 眞実／元井 庸介／

上野 紋／渡 武志／渡 陽子／宮田 愛

4 議題

番組内容の審議(「はまだまーぼのあっただんまドゥシ!」について)

5 議事の概要

- (1) 番組内容の審議(「はまだまーぼのあっただんまドゥシ!」について)
- (2) その他質問など
- (3) 次回の審議会について

6 審議内容

放送局丸田より、前回の番組審議会後、国土交通省より、国土交通大臣表彰を受けたこと、新しいスタッフ渡陽子についての紹介がある。

(1) 番組内容の審議(はまだまーぼのあっただんまドゥシ!)

深田委員長より、前回、前々回と、仕事上、東北の被災地への救援活動のため出席できなかった野村委員の紹介、簡単な自己紹介がある。

川畑委員

人と人のつながりから番組ができているということで、昔から奄美には結いの心という、人と人のつながりがあるので、楽しい番組だと思いました。濱田さんの口調が聞きとりやすく、ゲストの話題性、引き出しを出してくれる話し方で、話がはずみ、興味もいろいろわいてくるので、好きな番組です。ただ、お土産(「おみや」)コーナーの意味が良くわからないなど。お土産も、ゲストの方々がいろんなものを持ってくるので面白いのですが。最後の手紙で、笑いもありながらも、最後に人と人のつながりという話題づくりで興味があり、面白かったです。

深田委員長

ディさんに質問ですが、はまだまーぼさんの、この番組ができたきっかけはどういったものでしょうか?とても面白い方なので、濱田さんと、どういういきさつで番組ができたのか聞きたいな、と思ひまして。

一放送局 麓より

あまみエフエムが開局当初、一般の方に参加していただくポジションとしては、朝、昼、夜の生番組を、ボランティアパーソナリティとして進行していただくもののみでした。その後、それぞれ趣味や市民活動をしている方に参加していただきたいな、という中で、おるみさんのおばチャンネルや泉清次さんの番組もそうですが、普段からの付き合いのある濱田さんから、やったことないけれども、そういった番組をぜひやってみようという提案をいただきました。最初だったので、どのようなものになるのか？と思いながらでしたが。内容に関しては、本人がやりたいことを(放送局の)元井が聞いて整理し、つめました。

そういうことで、本人からやりたいとご要望いただいたいきさつがあります。

一放送局 元井より

内容については、企画を持ち込んだ当初から、基本的に変わりません。「人を紹介する」ということは、テレビの某人気番組の方式でやりたいとおっしゃっていました。あと、自分の知らない情報を得たい、発信したいということで、「おみや」のコーナーを取り入れました。自分の文化圏にはないものを持ってきていただけるので。前半で、おみや(お土産)を紹介しつつ、ゲストのお話を聞き、後半で曲を紹介、時系列の流れでゲストのお話を聞き、最後は手紙でびしっと締めるという形です。手紙があるから、他でくずれても大丈夫、ということで、最後の手紙だけはきちんとしようという話をいつもしています。

稲沢副委員長

私は、最初、この番組というよりは、はまだゆかりさんの歌から入りました。歌をきいて、とにかく誰の歌かを一番に問い合わせました。そして、そのはまだゆかりさんの旦那様の番組と後から知りました。なんといってもはまだゆかりさんの大ファンになって。ブログも読ませていただいたりしています。素敵なお夫婦だと思っています。

この番組が、1時間番組で長いこともあり、番組の放送時間が仕事中なので、耳にはしていません。「ああ、アガルイの人だな」とか。ただ、再放送を含めてもじっくり聞いていなかったのも、今回 CD をいただいてちゃんと聞いて本当によかったです。

濱田さんが時々ちょっと崩れすぎて、「バカヤロ」とかいっても嫌味がなく、かしまっていないところがいいのかなと思います。そして、途中でふざけていても、最後の手紙ではまじめに締めるという構成が、結婚式の進行を思い出しました。途中の余興などでふざけていても、最後の「両親への言葉」などできちんと締めるのと同じで、「やるな」と思いました。しっかり聞きたい番組だなと思いました。その後の回でも、なかなかきっちり聞けなくて、じっとして、しっかり聞けたらうれしいのになと思いました。

俵委員

聞きやすかったです。「おみや」も、ゲストさんが緊張されていても、そのお話をすることでリラックスでき、とてもよいと思います。また、食べ物を食べたりする音が聞こえるのも、五感に訴えられる感じがいいなと思いました。それでアガルイのお店にも行きたいとか、いろいろ思ったりしたので、最初の「おみや」はとてもいいアイデアだと思います。先ほど稲沢さんもおっしゃっていましたが、何回か聞いてわかる部分もあると思いますが、この時間帯が、子供がまだ小さく、なかなか聞いていなかったのも、改めて CD で聞いて、同世代の 20~30 代の励みになるという印象で、すごくいい内容だな、と思いました。最後のお手紙がすごくよくて、普段伝えられないことを伝えたり、自分も、自己投影して、考えるきっかけになったりして、構成のバランスがよく、とてもいい印象です。

野村委員

なかなか番組としてラジオで放送している時間には聞くことができないので、CDを何度か聞いただけの評価になります。内容が濃く、じっくり聞きたくなる、とてもいい番組と思いました。したがって、もう少しゆっくり聞ける時間に放送してほしいと感じました。

構成ですごくいいなと思ったことは、飲食店さんとか、島独特の職業、そして島でがんばって成功している例を、起動に載るまでには失敗などもいろいろあったと思いますが、その失敗談も含めて、嫌味のないギャグを交えながら説明してくれることにすごく惹かれました。

深田委員長

アガルイの方(ゲスト)も、濱田さんのことも知っているので、なおさら入り込んで聞けました。(サンプル CD は)いまだに車の中に入ったままで、社員も喜んで聞いています。濱田さんのおかげで出演者を、リスナーの方が好きになるような、そんな番組だと思いました。また、通して聞く内容として、60分という時間は、ちょうどよい長さだと思います。俵さんもおっしゃっていましたが、20～30代の励みになると思います。

ゲストが話したい言葉に、濱田さんが引き出したいことがうまく組み合わせあって、60分という時間を感じさせない、お話の流れだなと思いました。

番組の構成も、「おみや」→歌→手紙→紹介という流れが、なんとも言えず完成度が高い編成だと思いました。笑い感謝というキーワードでまとまって、聞いていて幸せになれるような番組だなと思いました。また、次はどんなゲストが来るんだろう、と次回を楽しみにさせてくれ、期待感があります。面白い番組であるし、長く続けてもらいたい番組だと思いました。

三井委員(欠席のため文章にて事前提出、委員長より代読)

実は私、この番組を初めて拝聴しました。濱田さんのとても上手な話術と、ゲストの素敵な人生談、人となりに魅了され、60分常に集中して聞くことができました。率直な感想としては、「実に面白くて、素敵な番組」の一言です。島にこんな夢を持った、素敵な若者がいたんだ！という発見に感動し、勇気をもらいました。

今まで何故この番組を聞いていなかったのか、後悔さえも感じました。

【時間配分】について

最初は60分は長すぎでは？と思っていましたが、その人の人生なり、生い立ちをじっくり聞くには、ちょうどいい時間だと感じました。

【放送日時】について

ゆっくり、じっくり聞くには、適当な放送日時だと思います。

【番組内容】

とてもいい内容だと思います。濱田さんのゲストの方への質問の仕方、話の聞き方が本当に上手で、ゲストの魅力が引き出されていたと思います。

少し要望というか、提案ですが、【ゲストの方から大事な人への手紙】、または、【ゲストの方への手紙】など、ゲストにとって、人生のキーパーソンとなる人からの介入が少しあっても、また面白いのではないかと感じました。BGMにゲストの好きな、思い出の曲を流す～など。

ゲストの方の年齢層も幅広いのですが、やはり私が20代なので、島の若者(2~30代)が気張っている話を聞くと、とっても刺激になります。今現在成功してなくても、夢に向かっている途中、悩んでいる。という話も聞きたいなと思いました。

何よりもこのような素敵な番組を知ることができて、大変嬉しく思います！

これからは、しっかり毎週拝聴したいと思います。

—三井委員意見以上—

深田委員長

今までの「おみや」の中で、面白かった、思い出に残る「おみや」は何ですか？

—放送局 元井より

塩ですね。アジシオを持っていらっしまった回がありました。なんにでも塩をかけて食べるというゲストの方で、かけて食べるものがなくて塩だけだったので、「しょっぱい！」ということで。(笑)

メインは食品ですが、食品でないときもありました。あとは、そのまま食べられない加工品で、わかめやわさび、なども。

椋山委員

聞いていて、フレンドリーな雰囲気というか、ゲストの方もラフな感じというか、いい雰囲気で話せているので、楽しい感じがすごく伝わってきて、いい番組だなと思いました。

(2) その他質問など

深田委員長

ディから、質問などはありますか？

—放送局 元井より

先ほど、じっくり聞ける時間帯がいいというご意見をいただきましたが、具体的にどのような放送日時が適当かなど、ご助言をいただきたいと思います。

野村委員

ぼくとしては、もう少し遅い時間がいいです。この時間だと車に乗っていて、聞き流してしまう時間になるので。前回の番組(泉清次の甦る。心の一曲)などであれば、聞き流して聞くのもいい感じでしたが、今回のように、人生のことについてじっくり話すような番組で、また、腰をすえて聞きたい番組だと、そう思います。一般的なサラリーマンなら事務作業などで椅子に座っている時間帯、主婦の方ならご飯の片づけが終わってゆっくりしている時間など、集中して聞きたいときに手を止めることができる時間帯に聞きたいです。そのほうが、番組を聴いて、励みになる人が多くいるのではないのでしょうか。

深田委員長

その他、委員の方から質問などはありますか？

俵委員

「あつただんまドゥン！」の、「あつただんま」はどういう意味ですか？

一放送局より

急に、あつという間に、という意味です。「あつというまに友達」という意味のタイトルで、濱田さんが考えました。ただ、奥さんに出てもらったときは、「あつただんまトウジ(奥さんの意)」でしたが、笑。

稲沢副委員長

今回の CD を聞いて、前の人たちの放送を聞きたいと思うのですが、再放送などの予定はないのですか？

一放送局 元井より

100 回記念など、深夜の枠などを使ってできたらと思うのですが。最初は濱田洋一郎さんからで、今はもう全然接点がない人までつながっています。

川畑委員

僕も一度出演したことがあって。第5回ぐらいでしたでしょうか。それから濱田さんとも親しくなって、プライベートでも飲んだりするようになりました。こないだはゲストに呼ばれた人5人ぐらいで、飲みに行ったりして、プライベートでもフレンドリーで楽しい人ですね。またそういうつながりで楽しいことができるといいですね。

一放送局 元井より

ぜひその時には収録もさせていただきたいですね。(濱田さんは)自分の番組が大好きで、車で収録に行くときなどは、自分の番組の第何回を聴くとか・・・それもまた次のモチベーションになったりしているみたいですね。

深田委員長

深夜の時間帯に、オールナイトで全て放送とか、そういう企画もぜひしてほしいと思います。今回、CD で聞いて、過去のものをぜひ聞きたいという意見も多かったのです。

深田委員長

今後、ディで告知などを行うイベントなどあれば教えて下さい。

一放送局より

直近では、今週末にあやまる祭りにてステージに上がらせていただくつもりです。また、明日から福島県の河内村の中学生達が、今は群馬県や栃木県など、近隣の県にばらばらに過ごしているのですが、奄美で再会するというプロジェクトが始まります。基本的には自然の家に宿泊し、その他飲食店や、さまざまな体験をする施設などでは、各会社や施設が費用を負担する、といった招待プランです。6 日間の日程で滞在するのですが、その様子を電話で教育委員会の方とつないで電話で伺ったり、住用町の川内に行っているところを取材し、レポートをお届けしたりしようと思っています。

また、その日の番組が、夜の0時以降に一挙に再放送していますので、そちらもぜひお聞きいただければと思います。

(3) 次回の審議会について

「あの日、あの頃～アメリカ軍制下・行政分離期の奄美を語る～」について

一放送局 元井より

月に一度、第4日曜日にお昼1時から本放送で放送している番組です。自分もそうですが、島で生まれ育っても、奄美がアメリカ軍制下の時代があったということを知らずに島の外に出てしまうぐらい、その時代の認識がなかったりします。そういう時代のこと、その時代に日本復帰を果たすべくがんばった人たちのことをもっと知ってもらいたいという思いで制作している番組です。自分は中原より引き継いでやっていますが、出演されるゲストの方は、当時を生き抜いた先輩方ですので、体験者の方も徐々に少なくなっており、そのなかで当時のことをできるだけ皆さんに知っていただきたいと思っています。

今回特に皆さんにうかがいたいことですが、以前は、復帰運動に中心的に携わった方、比較的有名な方々をゲストにお呼びしてお話をきいていましたが、そういった方々を一巡し、最近では、その時代の文化、といいますか、その時代の、一般の方々がどのように暮らしておられたか、といったお話を聞いています。例えば、当時、競輪をしていた、とか、アメリカ軍が武道を禁止していたため、銭湯でボクシングをしていた、とか。そういった話の端々から時代を知ってもらえたら、という形にシフトしている時期なのかなという気がします。そのことについて、どう思いますか？という意見を聞かせていただきたいと思っています。

一放送局 中原より

最初は、誰にお話を聞いたらよいかわからないということもあり、有名な方々に聞くことになったのですが、どの時代もそうだと思うのですが、いろいろな視点で、いろいろな人のそれぞれのストーリーがあるはずで、そのいろいろな立場からお話を聞くのはいいことだということもあり、最近では、紹介してもらったり、たまたまその方にお話を聞けたり、などいろいろなきっかけで、ゲストの方にお越しいただき、お話を伺っています。目線を下に、というか、普段の生活を知ることで見えてくることもあると思うのです。

また、番組自体は、振り返るだけではなく、そのお話を聞くことで、未来につなげるために私たちが何を伝えたいか、ということがポイントになると思うのです。

ゲストの方が体験を踏まえて、若い人に何を伝えたいかを考え、未来につなげていく、そういうことができれば、と思っています。

次回は、10月19日19:30からと決まる。

深田委員長

話は以上ですが、最後に麓代表より何かひとこといただいて締めたいと思います。

一放送局 麓より

先週、先々週と、奄美祭りに今年もまた関わらせてもらいました。会場の状況など中継などしたりしたのですが、それに関する意見や、また、車で聞かれたり、会場で聞かれたり、いろいろあると思いますので、このようなことをしてほしい、などのご要望などありましたら、また後日メールでもかまいませんので教えていただければと思います。

また、急なことで皆さんへの周知が間に合わなかったのですが、先日の花火大会の際に、御殿浜公園で急遽イベントをすることになりました。もともと商工会議所さんがその場所での時間イベントをする予定で進めていたのですが、台風の影響で、商工会議所さんの方では準備に日数が足りないことになりました。自分達として

は数年その場所でイベントに携わっていたことがあり、せっかく1000人以上のお客さんが集まるのに花火だけではもったいないと思い、急遽、持ち出しでこちらがイベントをすることになった次第です。

結果、例年より増してお客さんが来てくださり、楽しんでいただけたのではと思っています。私達の放送を支えてくださっている市民の方々への地域還元として、いい形でお返しができたのではないかと考えています。

奄美市のあまみエフェムなので、(奄美市の笠利町のお祭りということで)週末のあやまる祭りも、できるだけ盛り上げられるよう、携わっていきたいと思っています。また、10月の住用町の三太郎祭りもそうですし、できるだけ地元のお祭りを盛り上げていけるようなラジオ局としてやっていきたいと思っています。またいろいろご意見などありましたら、いただきたいと思っています。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成23年8月31日(水曜日)17:30-「ゆふいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成23年8月31日(水曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成23年8月31日(水曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし